

U23世界選手権レポート (5)



上: LW2x (納田選手 (関西電力小浜)、高島選手 (米子東高校))
右下: 談笑する和田選手 (早稲田大学) と福井選手 (東レ志賀)
左下: LM2- (竹内選手、和田選手 (早稲田大学))

7/18 (土) -7/19 (日)

水上トレーニング3日目

7月18日 (土)

水上トレーニング3日目となりました。午前の8:30 ホテル発、11:00 コース発のリズムは変えずにトレーニング。午後は暑さと強烈な日差しを避けて17:30 ホテル発、19:00 コース発の移動に変更しました。乗艇前には必ず担当コーチとのミーティングを実施しています。

こちらの環境での乗艇に慣れてきたこともあり、午前にLM2 x (大塚選手・長田選手) とLM4- (荒木選手・林選手・志賀選手・佐藤選手)、午後にLM1 x (福井選手) とLM2- (和田選手・竹内選手) が並漕トレーニングを行い、現時点でのスピードと課題を各クルー確認していました。

会場では着々とコース設営が進み、コース沿いには参加国の国旗が掲げられました。今大会の参加国数は51カ国。エントリー数の影響で、当初の予定から予選の日時が変更されている種目もあります。USA、イギリス、AUSなど外国チームも続々と会場入りし、大会ムードが高まっています。

7月19日 (日)

大会コースが公式オープン。大会本部が完全に機能し始め、有事の際コースですぐに対応してもらえるようになりました。アスリートのレストルームやトレーニングルームも用意されています。

選手とスタッフは8:30 にホテルを出発。直射日光を避ければ比較的涼しいなか、トレーニングすることが出来ました。トレーニング後のミーティングではコーチから、時差や環境にも慣れよい流れで調整できている、よい動きも見られてきている、との言葉が。

トレーニング後はIDを選手に配布し、Concept社にオールをチェックしてもらいました。自艇参加とはいかないためユニバーシアードとは勝手が異なる部分もありますが、より早いスピードを出すべく入念にリギング・オールの確認、調整を行っています。

今日からは昼食もコースで摂ることができます。周りには、カナダやブルガリアのチームも。ヨーロッパの多くの国では7月から既に夏休みだそうで、大会前は練習に専念できている印象を受けました。本日午後には中村チームドクターも合流し、万全の体制が整います。PMは各自調整。身体の疲れをとって明日からレース前最後の追い込みです。



参加国の国旗も揃いました。